

第1章 調査の概要

1.調査の目的

若年性認知症者は、子育てや就労の継続など様々な困難に直面することが多いと言われており、社会全体でサポートしていくことが必要と考えられる。

本県では2013年に今回の調査の前身となる青森県若年性認知症実態把握調査を実施し、調査の結果を踏まえた上で、若年性認知症に関する普及啓発や、青森県若年性認知症総合支援センターの設置、若年性認知症支援におけるネットワークの構築等、様々な取組を進めてきた。

本調査は、前回調査からの8年間に若年性認知症にかかる環境や地域に変化があったか、本人・家族支援においてどのような課題があるのか、改めて県内の実態を把握し、今後の認知症施策の方向性を検討するために実施した。

2.調査対象・調査方法

調査は県内の関係機関を対象とした一次調査、若年性認知症の家族・介護者を対象とした二次調査の二段階構成で実施した。

(1) 調査対象

1) 一次調査

2020年4月1日から2021年3月31日までの期間で、下記調査機関を利用した若年性認知症の方（利用時に65歳以上であっても認知症の発症が65歳未満であった方も含む）。

① 医療機関 219か所

ア. 病院

イ. 精神科・心療内科・神経科・神経内科・脳神経外科を標榜する診療所

ウ. 「あおもり医療情報ネットワーク」において、「対応することができる疾患・治療内容」に「認知症」がある医療機関のうち、ア.とイ.を除く医療機関

② 介護保険サービス事業所 1,732か所

ア. 通所リハビリテーション事業所

イ. 通所介護事業所

ウ. 訪問介護事業所

エ. 認知症対応型通所介護事業所

オ. 小規模多機能型居宅介護事業所

カ. 認知症対応型共同生活介護事業所

キ. 看護小規模多機能型居宅介護事業所

ク. 介護老人保健施設

ケ. 介護老人福祉施設

コ. 地域密着型介護老人福祉施設

サ. 介護医療院

シ. 短期入所生活介護事業所

ス. 訪問リハビリテーション事業所

セ. 地域密着型通所介護事業所

③ 障害福祉サービス事業所 1,164か所

ア. 居宅介護事業所

イ. 自立訓練（生活訓練）事業所

ウ. 生活介護事業所

エ. 就労移行支援事業所

オ. 就労継続支援A型事業所

カ. 就労継続支援B型事業所

キ. 行動援護事業所

ク. 短期入所事業所

ケ. 共同生活援助

④ 相談サービス事業所 776か所

ア. 居宅介護支援事業所

イ. 地域包括支援センター

ウ. 相談支援事業所

エ. 障害者就業・生活支援センター

オ. 小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者

2) 二次調査

若年性認知症の本人（一次調査の対象医療機関、事業所を2020年4月1日から2021年3月31日までの1年間に利用した者）・家族・介護者

対象者数：367人

同一の者が、複数の医療機関や事業所を利用していることがあるため、『イニシャル、性別、生年月日、居住地』のすべての項目が一致した者については、同一の者として扱う。

(2) 調査方法

1) 一次調査

- ① 調査票の配布方法
調査票を郵送により配布
- ② 回収方法
郵送またはメールにより回収
- ③ 調査実施期間
2021年6月30日(水)～2021年7月31日(土)
- ④ 再調査実施期間
2021年8月2日(月)～2021年8月15日(日)

2) 二次調査

- ① 調査票の配布方法
一次調査で若年性認知症の人がいると回答した医療機関、介護保険・障害福祉サービス等事業所を經由し、本人・家族等へ調査票を配布
- ② 回収方法
郵送により回収
- ③ 調査実施期間
2021年9月1日(水)～11月30日(火)

(3) 主な調査項目

1) 一次調査

調査対象	主な調査項目
医療機関	<ul style="list-style-type: none"> ・若年性認知症の患者の有無、人数、認知症疾患名等 ・若年性認知症の方等への支援についての課題 ・専門医療機関、若年性認知症総合支援センターとの連携体制に関する意見
介護保険サービス 障害福祉サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・若年性認知症の利用者の有無、人数、認知症疾患名等 ・サービス提供時の支援状況、課題等 ・若年性認知症総合支援センターとの連携体制に関する意見
相談サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・若年性認知症の利用者の有無、人数、認知症疾患名等 ・利用者の紹介元、紹介先等 ・若年性認知症総合支援センターとの連携体制に関する意見

2) 二次調査

調査対象	主な調査項目
本人・家族・介護者	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の状況(年齢、性別、主な生活場所、診断名等) ・異変の気づき～受診、診断～現在のサービス利用状況等 ・介護者の状況 ・発症から現在に至るまでに困ったことや要望等

3. 各調査の実施状況

(1) 一次調査の実施状況

1) 調査対象機関別の回収率等

若年性認知症者の利用が見込まれる 3,891 か所に調査票を送付したところ、2,001 か所から回答があり、回収率は 51.4%であった。

回答があった医療機関、事業所等を 2020 年 4 月 1 から 2021 年 3 月 31 日までの 1 年間に利用した若年性認知症者数は延べ 452 人であった。

対象機関	対象数	回収数	回収率	利用有 機関数	利用者有の人数 報告数※1		
					65歳未満	65歳以上	不明
医療機関	219	149	68.0%	38	147	94	0
ア. 病院	33	25	75.8%	3	3	0	0
イ. 精神科等を標榜する病院・診療所	122	82	67.2%	31	142	90	0
ウ. 「認知症」に対応できる医療機関(ア.イ.以外)	64	42	65.6%	4	2	4	0
介護保険サービス事業所	1,732	825	47.6%	83	64	39	1
ア. 通所リハビリテーション事業所	76	47	61.8%	4	3	1	0
イ. 通所介護事業所	287	142	49.5%	11	7	6	0
ウ. 訪問介護事業所	512	183	35.7%	8	5	3	0
エ. 認知症対応型通所介護事業所	51	26	51.0%	6	8	3	0
オ. 小規模多機能型居宅介護事業所	51	34	66.7%	4	3	1	0
カ. 認知症対応型共同生活介護事業所	320	167	52.2%	18	12	5	1
キ. 看護小規模多機能型居宅介護事業所	9	6	66.7%	0	0	0	0
ク. 介護老人保健施設	59	41	69.5%	15	13	15	0
ケ. 介護老人福祉施設	98	53	54.1%	7	4	3	0
コ. 地域密着型介護老人福祉施設	44	26	59.1%	1	1	0	0
サ. 介護医療院	11	3	27.3%	0	0	0	0
シ. 短期入所生活介護事業所	22	11	50.0%	1	0	1	0
ス. 訪問リハビリテーション事業所	48	22	45.8%	2	2	0	0
セ. 地域密着型通所介護事業所	144	64	44.4%	6	6	1	0
障害福祉サービス事業所	1,164	600	51.5%	26	23	7	1
ア. 居宅介護事業所	320	112	35.0%	6	5	1	0
イ. 自立訓練(生活訓練)事業所	29	15	51.7%	1	0	0	1
ウ. 生活介護事業所	172	100	58.1%	6	7	2	0
エ. 就労移行支援事業所	31	17	54.8%	1	1	0	0
オ. 就労継続支援A型事業所	89	47	52.8%	0	0	0	0
カ. 就労継続支援B型事業所	228	129	56.6%	9	8	3	0
キ. 行動援護事業所	38	14	36.8%	1	0	1	0
ク. 短期入所事業所	88	55	62.5%	0	0	0	0
ケ. 共同生活援助	169	111	65.7%	2	2	0	0
相談サービス事業所	776	427	55.0%	67	50	23	3
ア. 居宅介護支援事業所	498	269	54.0%	39	24	14	3
イ. 地域包括支援センター	73	50	68.5%	10	10	4	0
ウ. 相談支援事業所	148	79	53.4%	15	14	4	0
エ. 障害者就業・生活支援センター	6	3	50.0%	0	0	0	0
オ. 小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者	51	26	51.0%	3	2	1	0
合計	3,891	2,001	51.4%	214	284	163	5

※1：同一の者が複数の医療機関、事業所等を利用していることがあるため、報告数は延べ人数。

2) 二次医療圏域別の若年性認知症者数

同一の者が、複数の医療機関や事業所を利用していることがあるため、「イニシャル、性別、生年月日、居住地」のすべての項目が一致する者については、同一の者として扱うこととし、重複した回答を削除した結果、368人であった。しかしそのうち6人が県外の者であることから、県内居住の若年性認知症者数は362人で、さらに調査対象期間における65歳未満の若年性認知症者数は213人であった。

■利用時65歳以上の者も含む若年性認知症者数

二次医療圏域	一次調査報告数 (a)				重複数 (b)				若年性認知症者数 ((a)-(b))			
	男性	女性	不明	計	男性	女性	不明	計	男性	女性	不明	計
青森地域	61	67	4	132	10	15	1	26	51	52	3	106
津軽地域	75	42	10	127	17	1	2	20	58	41	8	107
八戸地域	45	38	1	84	10	5	0	15	35	33	1	69
西北五地域	21	19	2	42	6	5	1	12	15	14	1	30
上十三地域	28	14	0	42	14	2	0	16	14	12	0	26
下北地域	12	7	0	19	0	0	0	0	12	7	0	19
他 県	3	2	1	6	0	0	0	0	3	2	1	6
未回答	3	2	1	6	0	0	1	1	3	2	0	5
合 計	248	191	19	458	57	28	5	90	191	163	14	368

■調査対象期間における65歳未満の若年性認知症者数

二次医療圏域	一次調査報告数 (a)				重複数 (b)				若年性認知症者数 ((a)-(b))			
	男性	女性	不明	計	男性	女性	不明	計	男性	女性	不明	計
青森地域	40	47	3	90	6	13	1	20	34	34	2	70
津軽地域	44	22	10	76	12	1	2	15	32	21	8	61
八戸地域	25	23	0	48	7	5	0	12	18	18	0	36
西北五地域	11	13	2	26	3	5	1	9	8	8	1	17
上十三地域	24	8	0	32	13	1	0	14	11	7	0	18
下北地域	6	3	0	9	0	0	0	0	6	3	0	9
他 県	3	2	1	6	0	0	0	0	3	2	1	6
未回答	1	1	1	3	0	0	1	1	1	1	0	2
合 計	154	119	17	290	41	25	5	71	113	94	12	219

- ◇青森地域 青森市 平内町 今別町 蓬田村 外ヶ浜町
- ◇津軽地域 弘前市 黒石市 平川市 西目屋村 藤崎町 大鰐町 田舎館村 板柳町
- ◇八戸地域 八戸市 おいらせ町 三戸町 五戸町 田子町 南部町 階上町 新郷村
- ◇西北五地域 五所川原市 つがる市 鱒ヶ沢町 深浦町 鶴田町 中泊町
- ◇上十三地域 十和田市 三沢市 野辺地町 七戸町 六戸町 横浜町 東北町 六ヶ所村
- ◇下北地域 むつ市 大間町 東通村 風間浦村 佐井村

(2) 二次調査の実施状況（回収率等）

一次調査において、2020年4月1日から2021年3月31日までの期間で、「若年性認知症者の利用があった（利用時に65歳以上であっても認知症の発症が65歳未満であった方も含む）」と回答した医療機関、事業所等に二次調査票を送付し、それぞれの機関を經由し、若年性認知症者本人・家族等への調査票を配布した。

対象	対象者数	回収数	回収率
本人・家族・介護者	362	77	21.3%